



Japanese Outreach

在欧日本人宣教

2021/3/20 NO.78 通算 NO.104
発行 在欧日本人宣教会
URL: <http://www.joutreach.org>
E-Mail: joutreach@gmail.com
委員長: 永井敏夫
〒168-0082 東京都杉並区
久我山 5-1-13-202
TEL & FAX: 03-5934-9709(嶋本)
郵便振替 00190-5-195499

若者が主に会おう場所として

ダブリン JCF OMF 宣教師 アリソン・オアー

ダブリン JCF(ジャパニーズ・クリスチャン・フェローシップ)は2014年に始まりました。以来この7年の間に20代から30代にかけての80人ほどがJCFに繋がってきました。コアのクリスチャンたちもありますが、集まりに来るほとんどの人たちはまだクリスチャンではなく、アイルランドに来る前は教会に行ったことのない人たちです。この人たちがアイルランド滞在中に心を開いて聖書を学び、キリストを知ろうとしていることは本当に驚きで私たちは励まされます。



JCF に集まるほとんどの人たちは、1年間のワーキングホリデービザで来ていますが、ダブリン市内にある4つの大学のど

れか、または英語学校で学んでいる人たちもいます。働いている人たちも若干います。

大体は8か月から1年間の滞在ですので入れ換わりがかなりあります。仕事をしている人たちは長く滞在し、また初めにワーホリや学生ビザで来て、後で仕事についている人たちもいます。

アイルランドにいる日本人の数は増加しています。2000年には750人ほどの日本人が住んでいましたが、今ではその数も約3000人になっています。ワーホリで来る人の数もかつての400人から今では800人と倍増しています。ほとんどの人たちはダブリン市内または近郊に住んでいます。アマゾン、マイクロソフト、ペイパルなどの多国籍企業もダブリンと周辺に位置しています。

私たちは毎月第四日曜日にダブリン市役所から徒歩10分ほどのところにあるアデレードロード長老教会で集まっています。まずはお茶とお菓子で始まり、おしゃべりをします。新しい人が大抵来るので、自己紹介とゲームなどから始めます。誰がリードするかによりますが、聖書のメッセージか学びをし、その後グループに分かれてディスカッションをします。終わった後もみな残っておしゃべりを楽しまします。年に3-

4回はみんなで食事をします。土曜日の午後には求道者のための聖書の学びをし、年に一度週末に泊りがけの集まりに出かけます。



MixB アイルランド(コミュニティーサイト)とフェイスブックでこの集まりの案内を出しますが、ほとんどの場合友人から紹介されてやっていきます。クリスチャンではない人たちがクリスチャンではない人々を誘ってくるのは本当に励まされます。

新型コロナウイルスの影響で、昨年3月以来実際には集まらず、全てズームでしています。日本に帰国したかつての仲間たちも集まりに参加してくれています。この数年アイルランドに何回かおいでになり、また昨年の週末の泊りがけの集まりでもお話しくださった台湾の元栄信一牧師にも助けをいただき感謝しています。ズームにしてからは、聖書の学びをする求道者たちもよく出るようになってきました。ダブリンに留まらず、周辺の市からも参加しています。



再び実際に集まる日が来るのを心待ちにしていますが、日本に帰国した人たちやアイルランドのほかの地域にいる人たちと繋がるためにズームも使い続ける予定です。(2月13日)

安藤廣之・里佳子宣教師 宣教レポート No. 46

オンラインキャンドルサービス

「宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。」
(ルカ 1:7)

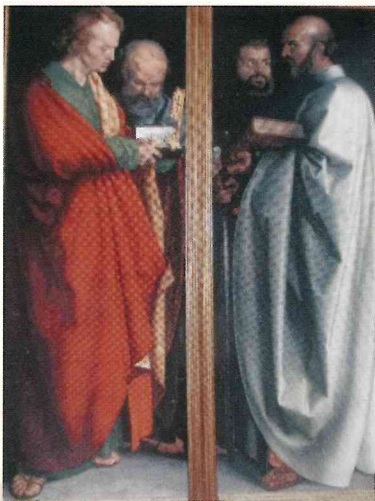
ドイツでは12月に再度ライトロックダウンが掛かり、2月14日まで延長されました。再度延長される可能性もあります。その様な中でミュンヘンに来て初めてのクリスマスイヴのキャンドルサービスを行いました。会堂に集まってする予定でしたが、Zoomですることになりました。内容は聖書朗読と讃美歌を交互に入れ、後半にショートメッセージをしました。それぞれが可能ならば電気を消してローソクをつけての礼拝でした。それは今まで経験してきた様な華やかで楽しいクリスマスではありませんでしたが、静かで厳粛なSilent Nightでもあり、味わい深いクリスマスとなりました(感謝)。



教会総会

1月24日(日)の礼拝後は始めてZoomを介しての教会総会を行いました、議題は2021年12月をもって私が牧師を退任することと2022年の1月から後任の牧師先生を招聘する事であり、それに纏わる予算の承認もされました。世界中が試みにある中、教会がリセットされるに良い機会だと思います。開拓に関わった宣教師が10年余りの後に、次の牧師にバトンタッチする事は普通のことです。招聘については今後、役員会を中心に進めて行くこととなりますが、Covid-19の感染状況からしても予定は未定と言えます。今後予想できる変化にも対応しつつ、予定通り私の退任と後任牧師の招聘を実現させたいと願っています。(2月8日)

ミュンヘン紀行《その4》ピナコテーク美術館



ミュンヘンにはドイツを代表する美術館と言える3つの「ピナコテーク」があります。主に100年以上前の宗教画などを展示する「アルテ(古い)・ピナコテーク」とそれ以後の最近の時代の絵画を展示する「ノイエ(新しい)・ピナコテーク」、更に現代から未来に向けての作品が展示されている「ピナコテーク・モデルネ(現代)」があります。

アルテ・ピナコテークにはプロテスタントに改宗したバイエルン州(ニュルンベルク)出身の画家アルブレヒト・デューラーの代表作「四人の使徒」があります(写真)。この作品はパウロ、ペテロ、ヨハネ、マルコを描いていますが、ペテロとヨハネは熱心に聖書を見つめ、パウロも大きな聖書を手に持ち、正面を見つめています。マルコは師匠のパウロを輝くような目で見つめています。この様な絵画によっても聖書とその人物を一般の方に紹介出来る事は有難いことです。

感謝と祈りの課題

- ☆ オンラインに慣れて、人々が教会から離れる事がない様に。自分の教会とその交わりが希薄になってしまわない様に。
- ☆ 引越しと後任牧師のビザの申請の為に。
- ☆ 来年から後任牧師と同居することになる長女の為に。(安藤の今の住居に後任の先生を迎える予定)。
- ☆ 牧師と教会員の心と体の健康の為に。



安藤廣之・里佳子宣教師(ドイツの連絡先)

Quidderstr. 16, 81735 München, Germany

Tel. +49-(0)89-51304192

gihigugmakoangdios@yahoo.co.jp (廣之師)

mouerikakomagami@gmail.com (里佳子師)



私が住む都市は、小アジアに位置しています。故郷の新潟で両親の在宅介護を終えて一人住まいの時、今後の人生は、何回も旅したこの国では？と感じ、10年前に住み始めました。イスラム教徒が

大多数ですが、僅かながら新教、旧教、正教、ユダヤ教も存在します。残念ながら、エホバの証人、モルモン教、統一協会も。

何ができるか判らぬまま語学学校に通い、アパートを探しました。韓国人教会での日本人集会(今は無い)に関わったり、現地語の教会に出席する中で、隣国シリアからの難民支援ボランティアに加わったりもしました。こちらでは握手から始まって、互いに知り合っていく社会なので、友人間の口コミが重要です。引きこもりたい私も、人との関りで多く助けられました。何か現地教会のお手伝いできれば、と渡っ

てきたのに、コロナ渦で、自分が現地で助けられる側になったある出来事は、意識の変革でした。単なる外人客員の私を、教会の家族という理由だけで。

こちらに来て、私は、在住日本人との小さな集まりで心が耕され、現地人信徒の生活から多様性を学び、「教会の家族」の行動に実際に触れて、意識が変えられました。

当地も、感染症対策で強制的な制限があります。現地教会もネットでの礼拝です。語学学校での日本語授業もリモートになり、還暦の身ですがズームで教えています。私には、貯蓄、技能、体力は無いのに、滞在継続中なのは感謝です。3年前より送り出し教会となって下さった支援会から、年3回「小アジアの風」というニュースレターを発行しています。

(1月28日)

※桑原さんが暮しているのは要配慮の国ですので、国及び都市名は明記していません。(機関紙編集チーム)
※ニュースレターをご希望の方⇒〒520-0804 滋賀県大津市本宮 2-5-1 ビワハイツ 101 近江聖書教会

リレーエッセイ

洗礼を受ける決心

デュッセルドルフ日本語キリスト教会 渡邊 航

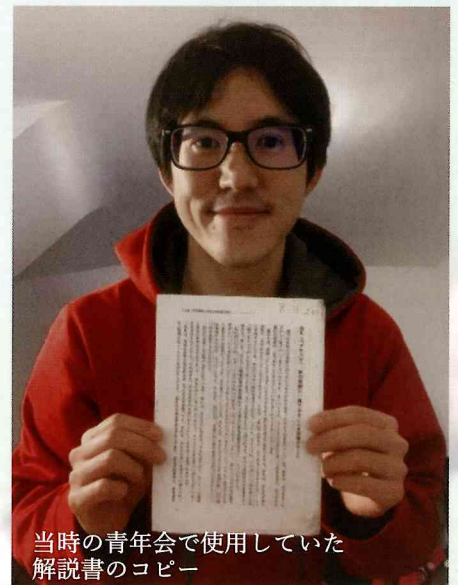
私が受洗の決意をしたのは、この機関紙の編集をされている西迫姉のご自宅です。今回、久々に西迫姉から投稿依頼のために連絡をいただき、受洗の決心をしたときのことを思い出したので、そのことについて投稿します。

私が生まれ育ったドイツでは習慣として受洗する人ノンクリスチャンがたくさんいます。受洗前の私はそのような形式的な洗礼が嫌で、洗礼に対してあまり前向きな気持ちが持てませんでした。

ある日の青年会で洗礼の話になりました。私は信仰はあるものの洗礼は受けていないこと。洗礼はあくまで霊的な救いの結果であり大事なのはイエス様を信じること。洗礼は聖書で語られているのでいつかは受けるべきだが、霊的な救いを受けていない友人が洗礼を受けていることをみると気が進まないことを話しました。ひと通り分かち合いが終わり、バイブルスタディの解説書の輪読が再開しました。そして私が朗読したのは以下の箇所です。「洗礼とは、後回しにしたり先送りにしたりできるような任意の儀式ではありません。」まさかこのタイミングでこんなことを読まされるとは・・・私は主を恐れしました。そして直接主に語られていると思わざるを得ませんでした。周りの青年たちは驚きと、あまりにもタイムリーすぎる解説書の内容に笑っていました。そしてその日に洗礼を受けたいと教会の兄弟姉妹方に伝えました。

もし当時洗礼を受けていなかったら、私はその後も受洗しなかっただろうと思います。それこそ洗礼を先延ばしにして結局うやむやのまま洗礼のチャンスを逃す人生になっていたのではないかと思います。あの時決心する機会を与えてくださった主に感謝します。(1月24日)

リレーエッセイのバトンは、次回、スイス日本語福音キリスト教会の井ノ上歌歩^{かほ}さんにパスされます。どうぞご期待ください！



当時の青年会で使用していた解説書のコピー

Europe Now...

聖書や子育ての学びをオンラインで

コロナ禍の欧州では、各国で厳しい行動規制が敷かれ、必然的に教会でも、礼拝や交わりを自由に持つことが難しい状況です。そのような中、オンラインでの学びや交わりの機会が増えてきています。

一つには、「聖書を読む会」のテキストを用いた学びが行われています。2月からは、「使徒の働き」の学びグループがスタート。国を超えて5人が集い御言葉を中心に分かち合います。証を聴く時間は、孤独な魂の養いになり、喜びに溢れます。https://syknet.jimdo.free.com

また、子育ての学びをしているグループもあるそうです。コロナ禍で不安なママ達の大きな味方になってくれるように祈っています。

欧州でオンラインの学びを始めたい方は、各テキストの必要を関谷典子姉にお問い合わせください。

⇒E-Mail: joutreach@gmail.com



事務局からのお知らせ

*クリスマス会 (zoom) : 12月5日 (土)



ドイツ、フランス、スイスからの方々も含め20人ほどの参加。齋藤篤師の絶妙な進行のもとクイズあり、

手塚昌彦兄によるウクレレ演奏ありと、一同で楽しいひと時を過ごしました。

*欧州宣教祈祷会 (zoom) : 2月6日 (土)

フィンランド、ドイツ、イタリアからの方々も含め20人弱の参加。内村伸之師が奨励で、「どのような時、どのような中にいても、主が関心を持ち共に歩んでくださる」ことをお語りくださいました。

日本語教会と集会をはじめ、新たな集会が生まれることも願いながら、グループに分かれて祈りました。

第二部は青木勝兄が「主に喜ばれ人に喜ばれることは何か」を捉え続けていく姿の大切さを語ってくださり、参加者の交わりタイムを持ちました。

会計報告

2020年度会計報告(2020年10~12月) (単位:円)

収入	2020.10~12	2020.4~累計	備考	支出	2020.10~12	2020.4~累計	備考
1. 献金	735,700	2,391,800		1. 宣教師支援金	420,700	1,622,200	安藤師指定(含:夏冬)
1) 一般献金	316,000	932,600	宣教会一般	2. 広告宣伝費	58,821	268,400	機関紙発行費
2) 指定献金	419,700	1,459,200	安藤師指定	3. イベント・集会費	0	2,739	帰国者フォローアップ費
2. 雑収入	2	4	受取利子	4. 事務局費	15,415	94,995	会議運営費
3. 繰越金	618,167	509,463		5. 宣教費	0	0	
				6. 予備費	0	54,000	宣教協力支援費等
				7. 繰越金	858,933	858,933	
合計	1,353,869	2,901,267		合計	1,353,869	2,901,267	

在欧日本人宣教会への献金者ご芳名(50音順敬称略)

●個人：青木脩、安藤邦子、飯田廣、岩崎佳枝、甲斐博、川端黎子、斎藤奈美子、佐竹るり子、島隆三、島田かおる、島田治夫、篠田裕司、清水真理、鈴木二郎・嗣子、中島雅子、長橋和彦、平林道子、広瀬久雄・麻由美、光川貴子、森和亮、森永憲治、柳橋英寿、柳川義也、山内真澄、横田栄・ヘーゼル、横山基生・好江、横山義孝・静子

●教会・団体：イザール祈りの友、岩井キリスト教会、キリスト教朝顔教会、釧路キリスト福音館、小松川教会、玉野聖約キリスト教会、津豊ヶ丘キリスト教会、天門教会、浜田山キリスト教会、南大沢チャペル

●欧州での献金：井野葉由美、佐々木千鶴、関谷寛信・典子、シュトゥットガルト日本語キリスト教会、ハンブルグ日本語福音教会（欧州での献金は上記の献金額には含まれておりませんが、感謝をもってご報告いたします。）

イザール祈りの友への献金者ご芳名(50音順敬称略)

総献金額：321,631円(2020年10-12月)

イザール祈りの友への献金は、在欧に送金される時期により、上記の表に正しく反映されないことをご了承ください。

●個人：有賀政夫・文子、尾田イネ、木口恒哉・真理子、鈴木恵理子、寺尾恵理子、中泉栄次、芳賀聡・みえ、瀧上英一郎、堀田悦子、宮永一彦、柳橋英寿、山岡結、匿名

●教会・団体：浦和福音自由教会、小金井教会、奈良福音教会、みよし福音キリスト教会



Facebookで最新情報をご覧になれます!

https://www.facebook.com/zaiou.jom

編集後記 コロナ禍の不便や不安がついて回る時代ですが、教会の活動や宣教がオンライン化して、この一年で欧州がぐっと身近になりました。それは単純に恵みだと感じています。とは言うまでも、やっぱり皆で集まって

一緒に思う存分賛美できる日が恋しいのです。数年後には、等身大で相手を映し出せるスクリーンが、各家庭に一台の勢いで流通していたりして。皆さまのご健康が、守られますように。次号の発行は6月の予定です。(広瀬)